

# ウグスク情報

ウグスク(壱岐)とは、首里城のことです。元々は敬称ですが、首里では今でも親しみを込めてこの呼び方をしています。

## 小学生の体験プログラム

国営沖縄記念公園事務所では、首里地域の小学生を対象に、四回の体験プログラムを開催しました。

- 第一回 手作りの提灯づくり(九月十二日)
- 第二回 首里城祭イベント見学(十月三十日)
- 第三回 ソネットの実を使った西の置物製作(十二月十一日)

第四回 沖縄の三線、三板の演奏(三月七日)各プログラムの前には、首里城内の未開園区域を案内してもらうなど、普段見ることのできない首里城と触れあう貴重な機会となりました。



三板の練習風景

## 石碑「重修天女橋碑記」を復元



石碑に触れる小学生

今年の三月、弁財天堂のある円鑑池のほとりに「重修天女橋碑記」が復元されました。

この石碑は円鑑池に架けられていた天女橋を修復した時に建てられたものですが、戦災を受け破損してしまいました。このたび那覇市の事業で復元され、三月十七日、城西小学校生徒が参加の下、除幕式が催されました。首里城公園の新しい顔として、皆さんに見ていただきたいと思ひます。

## 首里城が夜間に開園



首里城公園夜間ライトアップ

首里城公園では、去る三月二十二日(火)～三十一日(木)の十日間、七時～二十二時までの早朝・夜間開園を行いました。ライトアップされた城郭内では、石積や建物の幻想的な雰囲気が出た。よい、西のアザナからは、那覇市内の美しい夜景を見下ろすことができました。通常は日没から二十四時までライトアップを実施しており、城外から夜景を楽しむことができます。

## フリー乗車券で入館料割引

首里城公園と周辺施設では、沖縄都市モノレール(ゆいレール)と連携して、フリー乗車券利用者への入館料(入場料)の割引を行っています。入場時にフリー乗車券を提示すると以下の割引になります。ぜひご利用ください。

- 首里城公園
  - 大 八〇〇円→六四〇円
  - 高 校 生 六〇〇円→四八〇円
  - 小・中学生 三〇〇円→二四〇円
- 玉陵
  - 大人 二〇〇円→一〇〇円
  - 小人 一〇〇円→五〇円
- 沖縄県立博物館
  - 大 二二〇円→一六〇円
  - 高 校 生 一〇〇円→八〇円
  - 小・中学生 五〇円→四〇円
- ゆいレールフリー乗車券
  - 1日乗車券：大人六〇〇円 小児三〇〇円
  - 2日乗車券：大人一〇〇〇円 小児五〇〇円
  - 3日乗車券：大人一四〇〇円 小児七〇〇円



# 創刊号 琉球歴史回廊 首里かわらばん

首里には魅力的な歴史資源があると同時に、それを支えて活動する人たちがいます。この首里かわらばんでは地域で活躍している人たちを紹介していきます。首里を「再発見」し、「楽しむ」ために利用していただければと思ひます。創刊号は、観光地としても有名な金城町の特集です。

## 特集 石畳のまち 首里金城町



首里金城町自治会長 堀川恭宏さん

金城町は「金城町の石畳道」を中心に歴史的な景観が残る地域です。ここで様々な活動に取り組んでいる自治会長の堀川恭宏さんにお話を伺いました。

## 昨年の大ヒット！植物表示板

堀川氏：金城町の自治会活動が活発になったのは、ここ数年のことです。そのきっかけは金城村屋(かなぐらや)ができたこと、旗頭の復興が関係しています。昨年の大きな取り組みは、観光客へ紹介するために植物表示板を製作したこと。自治会の緑化部を中心に多くの方の協力を得ながら、一二六種類三三八枚の表示板を作りました。それが町内の観光コース沿いに設置されているわけです。

堀川氏：そうですね。住んでいる私たちにとっても新しい発見になり、特に子どもたちには植物を知ってもらえる良い機会になりました。また、県外の学校の先生からも大変良かった。その手紙をいただき、金城町が全国から注目されているのだと実感しています。

## ムーチー祭りの開催

記者：植物の見どころとして、大アカギが立派ですね。あの御嶽はとても神聖な雰囲気だと思ひます。

堀川氏：アカギのある内金城嶽(ウチカナダスクタキ)は、琉球王国時代の重要な御嶽のひとつで、ムーチー行事の発祥の地なので

## 催し物 6月～7月

名称	日時	場所	備考
琉球王朝 舞への誘い	週4日(水・金・土・日曜日) 祝祭日	首里城公園 系図座・用物座	古典舞踊、雑踊の上演。①11:00 ②14:00 ③16:00 スタートの3ステージで1ステージは約40分間。
首里城公園企画展 「紅型の輝き～名匠と王府の衣装展～」	5月9日(月)～7月5日(火) 9:00～18:00(入館券販売17:30迄)	首里城公園 南殿特別展示室	重要文化財「尚家伝来品」をもととした制作衣裳、近現代名匠の作品および首里城収蔵品の展示 (問)首里城公園管理センター TEL.886-2020
文化講座 近世琉球の社会生活史 講師：豊見山和行氏(琉球大学教授)	6月18日(土) 14:00～16:00	沖縄県立博物館 講堂	(問)沖縄県立博物館教育普及課 TEL.884-2243
体験学習教室 竹で民具をつくろう 講師：津嘉山寛喜氏(北谷竹細工)	6月25日(土) 9:00～15:00	沖縄県立博物館	定員40名(多数の場合は抽選)。募集期間：6月1日～6月15日 内容：竹かごづくり。児童生徒、一般対象。(問)沖縄県立博物館教育普及課 TEL.884-2243
企画展 「新収蔵品展～平成16年度 収蔵資料～」	7月5日(火)～7月24日(日) 9:00～17:00(入館16:30締切)	沖縄県立博物館	(問)沖縄県立博物館教育普及課 TEL.884-2243

## 編集 琉球歴史回廊と 後記 かわらばん版発行に寄せて。

奄美諸島から八重山諸島にいたる琉球弧の島々は、グスクや御嶽、伝統的な芸能、祭祀など、多様で固有性の強い歴史文化遺産を共有しています。「琉球歴史回廊」とは、こうした地域の歴史文化を大切にしたい、地域住民自らによる地域づくりをさすものです。それぞれの地域資源が多くの人々の手によって、「気づき」「守り」「活用」され、琉球弧全体が輝いていくことを目的としています。

## かわらばん版参加者募集!

「琉球歴史回廊」事務局では、今後、多くの方が参加しながら、首里地域の歴史や文化を楽しめる情報紙づくりをめざしていきたいと思ひます。そこで、かわらばん版記者になって、企画や執筆に関わりたいという方を募集します。首里の魅力をアピールできる方、お気軽にご連絡ください。また、身近にある地域の活動、首里の歴史文化やオスメルイト、PRしたい人やできごとなどの情報提供をお待ちしています。

編集 琉球歴史回廊構想推進協議会事務局 (内閣府沖縄総合事務局開発建設部公園調整官室) 〒900-1853 那覇市前島二二二一七 TEL.098-818-6211 FAX.098-818-6190 FAX.098-818-6191 発行 (財)海洋博覧会記念公園管理財団 首里城公園管理センター 〒903-0185 那覇市首里金城町一〇二〇 TEL.098-818-6120 FAX.098-818-6121 琉球歴史回廊 <http://www.dc.ogb.go.jp/kyoku/kairo/index.html>



子どもたちのムーチーづくり

川(カナグスクウフーヒージャー)で洗っておき、当日は大アカギの広場でムーチーを作ります。餅を炊いている間は「鬼餅伝説」のお話や紙芝居などをしました。子どもたちにも地元のお話や御嶽の意味を理解してもらいながら、親んでもらえたらと思ひます。

## ゆったり交流空間「金城村屋」

記者：「金城村屋」は、町内の人だけでなく、観光客の人にもよく訪れますね。

堀川氏：村屋は公民館兼休憩施設として建てられました。昔風の木造建物なので風通しも良く、憩いのスペースですね。那覇市のデイサービスで使ってもらったこともありますが、村屋を利用すると、雰囲気もいいし、人とのふれあいが多いと、皆さんに喜んでもらえました。地域でも子どもから年輩の方までこの村屋に集まることが多く、みんなの交流空間ですよ。



金城村屋

## 石畳道はポケ防止??

記者：金城町のおもしろいこと、特徴は何ですか。

堀川氏：やっぱり石畳道ですよ。金城町の老人は他の地域よりも痴楽になる率が低く、足腰が強いのだそうです。その理由は石畳



石畳道

目されて、誇りに思ひますし、多くの方々に迎えられるような金城町でありたいものです。

記者：どうもありがとうございました。

## 語句解説

- 旗頭(はたがしら)：綱引行事の時の幟(のぼり)。各町ごとに作られて行事の中心的存在である。
- 御嶽(ウタキ)：琉球諸島にある聖地の総称。そこには祖霊神や琉球の自然観に基づく神などが祀られており、人々の篤い信仰のもとに守られ続けている。
- ムーチー：沖縄の行事料理のひとつ。旧暦十二月八日の鬼餅の行事に用いられ、仏前に供えて厄払いをする。
- 鬼餅(おにもち)伝説：昔、内金城嶽の上に兄妹が住んでいたが、後に兄は人を食らう鬼となった。妹は鬼を退治するために、石をいれた餅とふつうの餅を持っていく。石をいれた餅を食べた鬼はこんな堅いものでも妹は食うのかと驚く。また妹が足を開いて座っていると、鬼はその下の口は何かと尋ねる。妹が「上の口は餅食う口、下の口は鬼食う口」と答えたので鬼は恐れて逃げ、崖から落ちて死んでしまった。